

Harvard College in Asia Project 企画趣意書

東京大学文科一類
京極 淳
ハーバード大学物理学科
北川 拓也

HCAP 概要

ハーバード大学とアジアの諸大学との交換留学プログラムであり、academic, cultural, social な活動を通じて、学生間の交流を深めていく。

ハーバード大学は 2007 年 2 月 12 日から約一週間、アジア諸大学からの学生を 10 人ずつ受け入れる。今回は東京大学以外に、北京大学、香港大学、シンガポール国立大学、マレーシア工業大学、聖ザビエル大学（インド）が HCAP に参加し、行動を共にする。同年 3 月 25 日から一週間、逆にハーバードから 15～20 人の学生が日本を訪れる。

目的

志高いプロジェクトを生み出すような人間関係(Human Network)を国際的に築くこと。そのような人間関係はアカデミックなディスカッションの上に築かれるのではなく、むしろプレゼンテーションを一緒に準備したり、一緒にご飯を作ったりすることで築かれることが多い。以上のことを踏まえ、我々は「仲良くなるプログラム」を HCAP を通じて提案する。アジアとアメリカの最高水準にある大学の生徒の交流を通じて、将来、世界規模でのさまざまな問題に共同して取り組むための礎となる永続的な友情やヒューマンネットワークを構築する。この構築された人間関係こそが、異なる文化・社会への更なる理解を促進することになり、現代に存在する社会問題を解決することになる。さらに、現代の IT 発達は、HCAP で構築された人間関係をより深く、長く存続する助けになる。一言でいえば、僕らは会うことを前提とした SNS(Social Networking Service)を提供し、Web 2.0 の考えに基づき、生徒がそれぞれの興味に応じてプロジェクトを立ち上げられるような環境を整える。

このような人間関係の構築は、まさに教育の根幹にあると、僕らは考える。しかしながら、世界的に、国を縦断して志の高い人間関係を築くようなプログラムはあまりない。日本においては大学もそのような人間関係を築く環境としては不十分である。このことを踏まえ、将来的にはこのようなプログラムを教育の一環として取り入れられるべきであることを提言していきたい。HCAP はその最初のステップである。